

日本医療教授システム学会(JSISH)
2020年度第4回理事会議事録

開催日時:2021年2月28日(日)17:30~19:30

開催場所:Web会議(Zoomミーティング)

<出席者>

代表理事: 池上 敬一

副代表理事: 浅香 えみ子、大西 弘高、鈴木 克明

<オブザーバー・出席者>

オブザーバー: 津嘉山みどり、松本 尚浩、鈴木 義彦、岡本 華枝

事務局: 的場 清志

<欠席者>

理事: 奥寺 敬

監事: 高橋 誠治、長坂 浩

1. 理事会の開催

定款28条により、池上代表理事が理事・監事・オブザーバーを招集し、定款29条により、池上代表理事を議長として開会した。

2. 議事録署名人の選出

議長より浅香 えみ子副代表理事が指名された。

3. 審議・報告事項

1) 新理事候補の推薦について【浅香理事】

浅香理事より、前回の理事会でも議題となった2021年度からの新理事候補について、4名の候補者が推薦され、全会一致でこれを承認した。

2) 2020年度決算報告について【浅香理事】

浅香理事より、2020年度の決算が報告された。大西理事より、セミナー事業に関する収支の詳細が質問され、セミナー事務局より提出されていた収支報告書を追加で報告した。

3) 委員会細則の承認【会則委員会】

第2回理事会で審議され、修正された委員会細則について確認を行った。浅香理事が、前回の理事会後に修正された部分は細則の順番および委員会の名称であることを説明し、全会一致で承認された。

4) 社員公募に関して【総務委員会】

2021年度の社員公募に関して、浅香理事よりHPに掲載される公募案内の文案が提示された。公募人数について全体数の最大50名と表記していたが、実際の募集する人数に合わせたことが追加で提案された。

併せて、事務局より、高橋誠治監事から社員申請の応募があったことが報告され、これを全会一致で承認した。

社員の残り定数である18名を2021年度社員公募案内に修正記載することで確認し、文案が承認された。

5) 財務担当理事の任命について【総務委員会】

池上代表理事より、本会の財務担当理事を浅香理事に委嘱することが報告された。併せて、財務担当理事の役割については、主に学会の会計を総括、総会で会計についての報告などを行うことが説明された。

6) 委員会の構成員について【池上敬一代表理事】

池上代表理事が2021年度に向けた新理事及び委員会編成について草案を提出した。草案について、各理事は問題がないことを確認。奥寺理事より都合にあった編成であることなどが追加で説明された。

また、鈴木理事より委員構成の権限について質問があがり、決裁権者は委員長であることが確認された。

このほか、理事の定員数である10名について、代表理事及び副代表理事もその定数に含むことを確認した。

草案に含まれていなかった高橋誠治監事は任期中であるため、そのまま残留の修正を行い、理事・役員総会への推薦を全会一致で承認した。

7) 第14、15回総会・学術集会の提案とプロジェクトについて【池上敬一代表理事】

池上代表理事より第14回大会の大会長について松本孝弘先生に委嘱することが提案された。テーマとしてシミュレーション教育に関するものを提案した。

また第15回大会については大会長を浅香理事に委嘱することを提案。テーマは15年目の節目として、医療教授システム学を提案した。

会期は3月の16日あたりで、場所については第14回については岐阜県・成徳学園大学を検討していることなどを併せて説明した。

大会長の委嘱について全会一致で承認された。

8) オンラインと対面の使い分けについて【池上敬一代表理事】

池上代表理事より、今後の学会主催の行事に関して学術的な行事に関してはZoomなどのオンラインで開催し、セミナーなどは対面を行うことを優先することが提案された。

各理事が対面とオンラインに関する所感を述べ、当会については対面の重要性が特徴であることなどを共有した。

第13回大会でオンラインと対面のハイブリット化を進めている津嘉山大会長より、費用をかけない中で、音響などの問題が挙がっていたが、少しずつ解決していることなどが報告された。

9) 第13回大会の状況報告

演題募集について10月末で〆切をした際に応募が少なかつたため、募集期間を延長して、現在で14件の登録があることを津嘉山大会長が報告した。

目標は30件ほどの登録を集めること報告した。

また参加登録に関しては長期で募集中であることを併せて報告した。

10) 第12回大会 収支報告

池上代表理事が第12回大会の収支報告を説明・報告した。

第13回大会の津嘉山大会長より、支出で大きな部分を占めていた印刷費に注目し、第13回大会については抄録集を希望者に有料配布とすることでコストを下げることを報告された。

11) 2020年度第2回理事会議事録の承認

資料に基づき、2020年度第2回理事会議事録案が審議され、全会一致で原案通り承認された。

12) 会支援機構との契約更新について【事務】

事務委託を行っている学会支援機構との契約について、事務局より契約が任意団体時の契約であったため、一般社団法人化した後の新しい契約を締結することについて説明された。新しい契約書では会員数を現状に合わせたことと、理事会の回数を増加させたことで、委託費の概算は変わらないことなどが説明された。新しい契約の締結について全会一致で承認された。

13) 法人化後の学会口座名義変更について【事務】

事務局より、学会の口座に関して、一般社団法人化後の口座開設について説明された。口座開設にあたり、池上代表理事の委任を大西理事が受けて開設することを確認した。

14) 年会費納入方法のクレジットカード決済化について【事務】

事務局より、学会の年会費の請求について、現行行われている振込用紙での支払いのほかに、クレジットカードの採用が提案された。収納代行手数料が決済額の7%であるが、会員の利便性が上がり、納入率が上がることなどが説明された。決済後の領収書発行の可否などを今後、確認し採用することが承認された。

15) 各委員会の年度報告および年間計画について【事務】

事務局より、2020年度の各委員会の事業報告書及び2021年度の事業計画書について、委員会構成を含めた統一した書式での提出が提案された。理事会は全会一致で承認された。

16) 今後の学会について、今回の所感

大西理事より、今後の学会について、学会の活性化の為に、執行部のサロン化などには留意するべきであると提案された。

奥寺理事より、コロナ過の影響後、教育の仕方という当学会の目的に注目が集まる目もあると所感が述べられた。

鈴木理事より、学会行事に関して、ハイブリッドを目指しているが、会場が使えなかったり、音響のハウリングなどの問題が起きており、第13回大会がよい意味での試金石になると期待していることが伝えられた。

津嘉山大会長より、今回初めて大会長を務め、医療教授システムの認知度が低い印象だが、協力をしていただける先生や、自身と同じ看護系の賛同者がいることなどの所感が述べられた。

以上